

**梅毒の発生動向【沖縄県：2013年～2022年】**

2023年4月24日現在（2022年の数値は暫定値）

感染症発生動向調査において、2013年～2022年<sup>\*</sup>に診断され届け出られた梅毒の情報を還元します。

<sup>\*</sup>疫学週によります。具体的な各年の集計対象期間は下表のとおりで、診断日を基に集計しました。

所属年	集計対象期間	
2013年	2012年12月31日 ～	2013年12月29日
2014年	2013年12月30日 ～	2014年12月28日
*2015年	2014年12月29日 ～	2016年1月3日
2016年	2016年1月4日 ～	2017年1月1日
2017年	2017年1月2日 ～	2017年12月31日
2018年	2018年1月1日 ～	2018年12月30日
2019年	2018年12月31日 ～	2019年12月29日
*2020年	2019年12月30日 ～	2021年1月3日
2021年	2021年1月4日 ～	2022年1月2日
2022年	2022年1月3日 ～	2023年1月1日

<sup>\*</sup>2015年および2020年は53週間、その他の年は52週間となっています。

**(1) 報告数の推移（沖縄県・全国）**

沖縄県における2022年の報告数は134人で、感染症法による全数報告が義務付けられた1999年以降、過去最多でした。

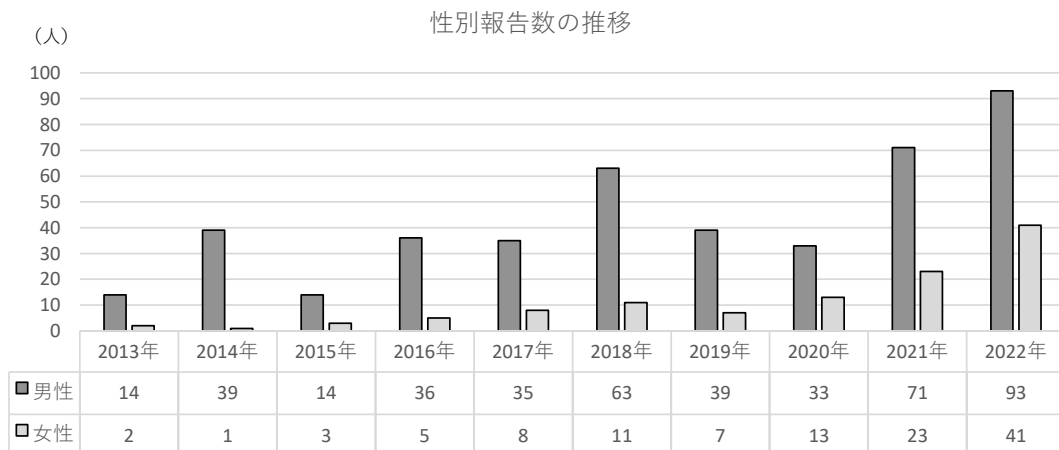
全国における2022年の報告数は13,226人で、沖縄県と同様に1999年以降、過去最多でした。



**(2) 性別報告数の推移（沖縄県）**

2022年の男性の報告数は93人で、前年比1.31でした。

2022年の女性の報告数は41人で、前年比1.78でした。

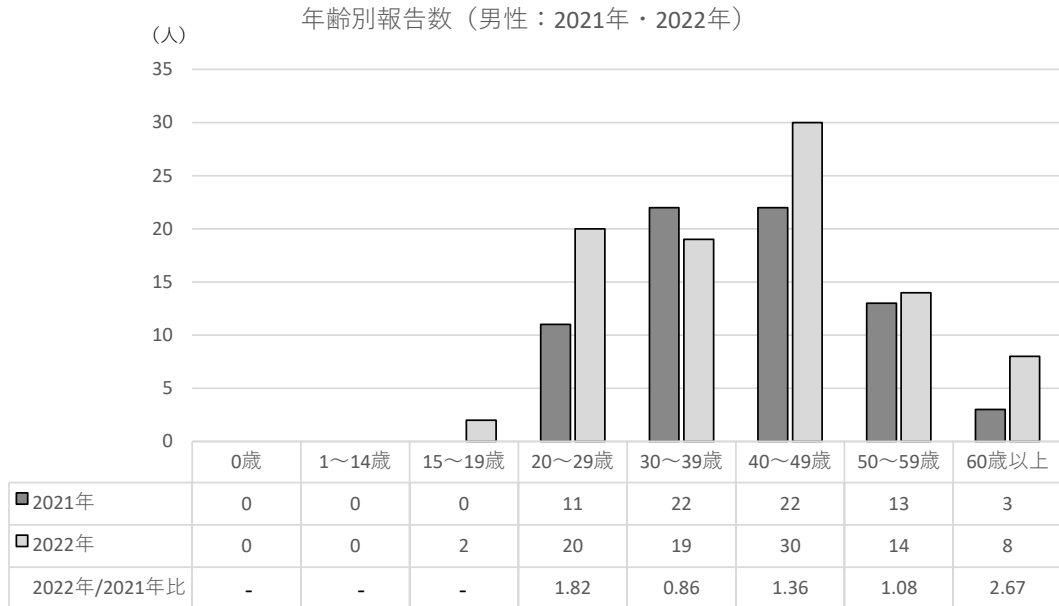


(3) 性別・年代別報告数（沖縄県：2021年・2022年）

①男性・年代別報告数

2021年と同様に、2022年も20代から50代の報告が多くありました。

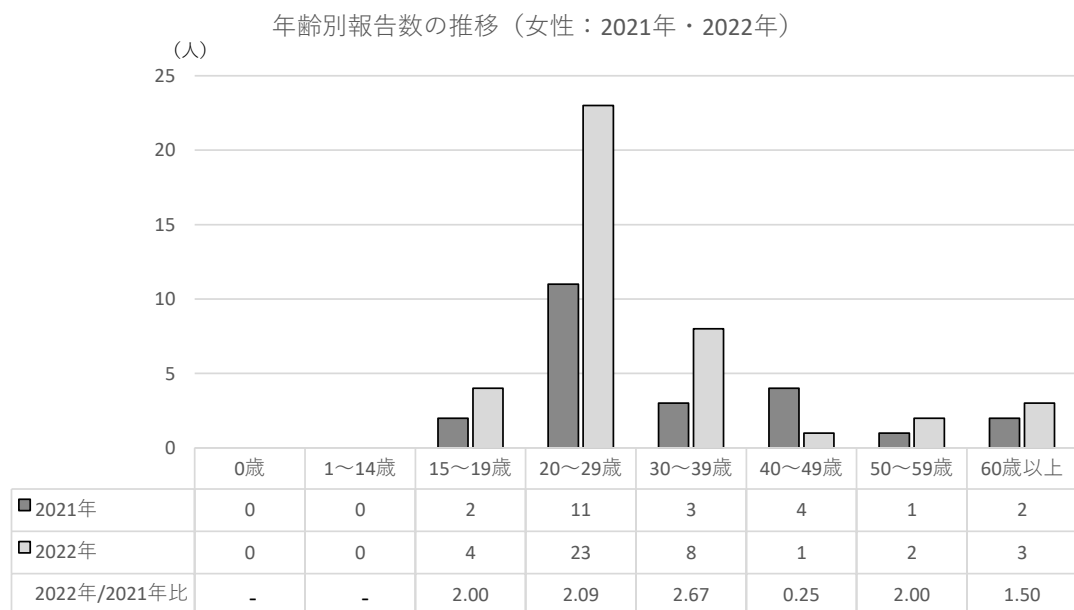
2022年/2021年比でみると、20～29歳、40～49歳、60歳以上で男性全体の2022年/2021年比（1.31）以上でした。



②女性・年代別報告数

2021年と同様に、2022年も20代の報告が多くありました。

2022年/2021年比でみると、15～19歳、20～29歳、30～39歳、50～59歳で女性全体の2022年/2021年比（1.78）以上でした。



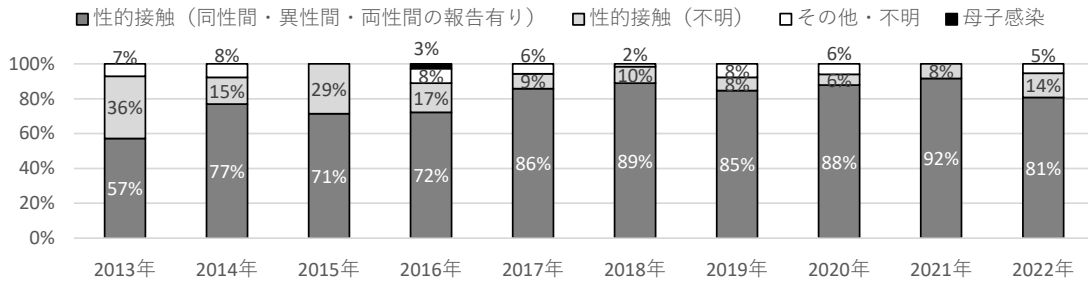
(4) 性別・感染経路別報告割合（沖縄県）

①男性・感染経路別報告割合

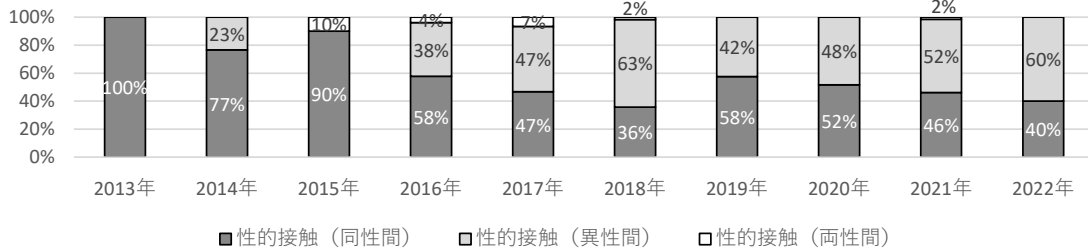
性的接触が89%~100%で推移しています。

性的接触（同性間・異性間・両性間の報告有り）における同性間・異性間・両性間割合は2020年以降、異性間の割合が増加を続けています。

感染経路別報告割合の推移（男性）



性的接触（同性間・異性間・両性間の報告有り）における同性間・異性間・両性間の割合の推移（男性）

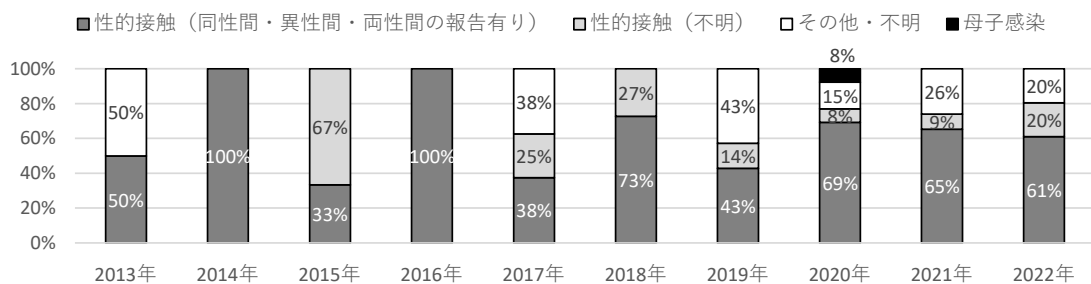


②女性・感染経路別報告割合

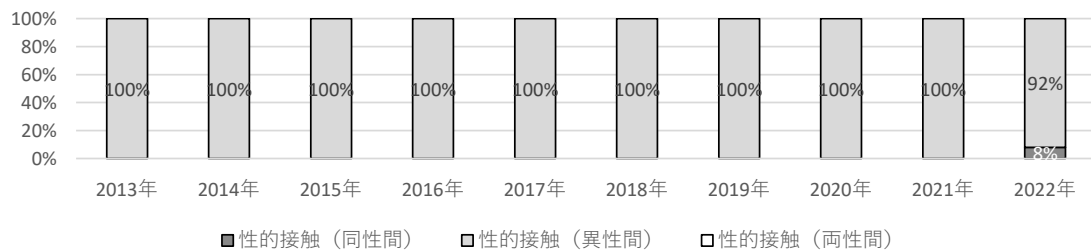
性的接触が50%~100%で推移しています。

性的接触（同性間・異性間・両性間の報告有り）における同性間・異性間・両性間割合は2022年を除き、異性間の割合が100%となっています。

感染経路別報告割合の推移（女性）



性的接触（同性間・異性間・両性間の報告有り）における同性間・異性間・両性間の割合の推移（女性）

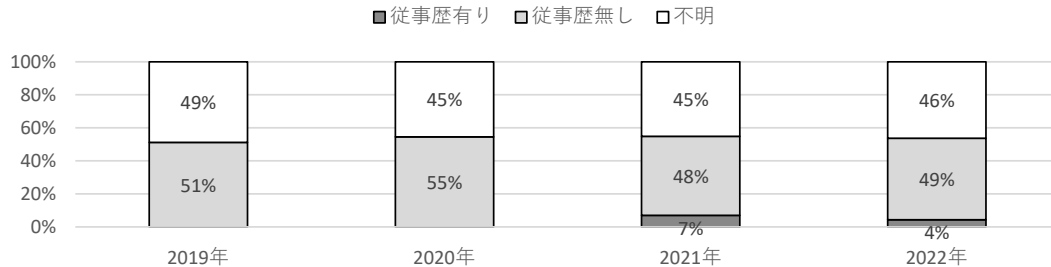


(5) 性別・性風俗産業の従事歴（直近6か月以内）の有無（沖縄県）

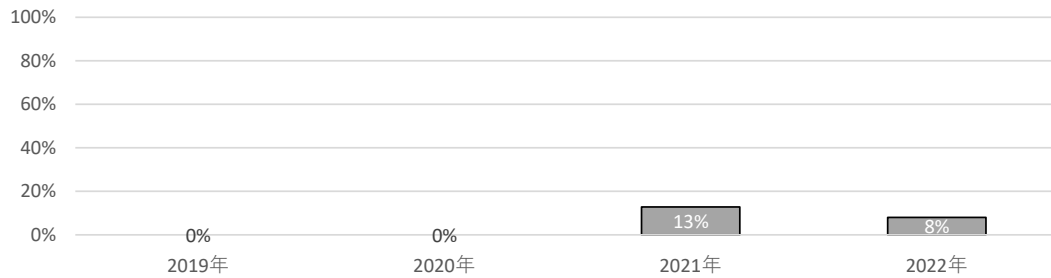
①男性

従事歴有り又は無しの報告率は51%~55%で推移しており、残りは不明となっています。  
不明を除いた2022年の従事歴有りの割合は2021年よりも減少しました。

性風俗産業の従事歴（直近6か月以内・男性）



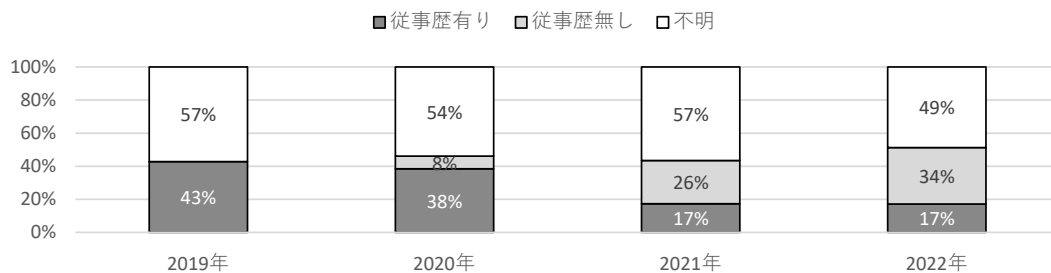
性風俗産業の従事歴有り割合（不明を除く）



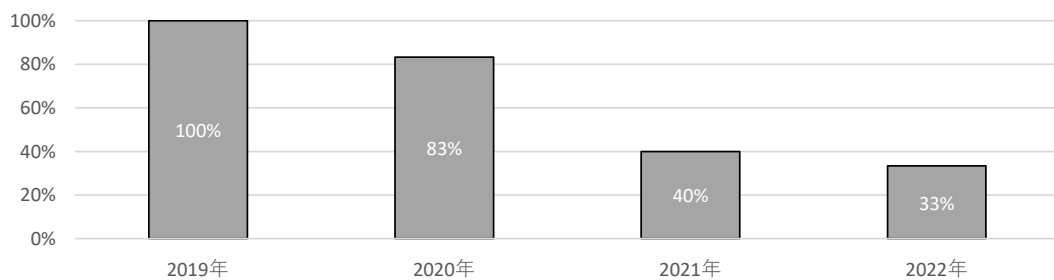
②女性

従事歴有り又は無しの報告率は43%~51%で推移しており、残りは不明となっています。  
不明を除いた従事歴有りの割合は2020年より減少が続いています。

性風俗産業の従事歴（直近6か月以内・女性）



性風俗産業の従事歴有り割合（不明を除く）



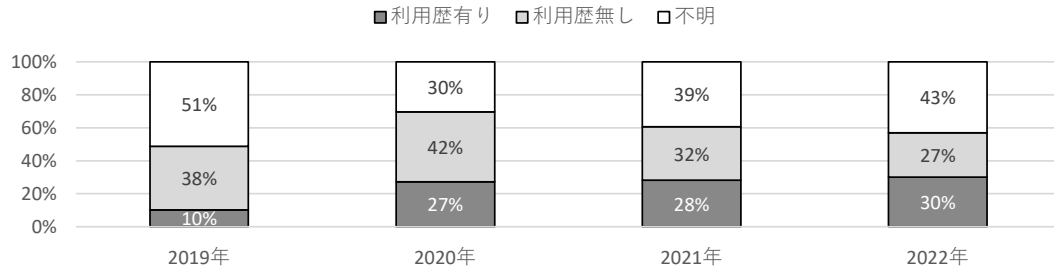
(6) 性別・性風俗産業の利用歴（直近6か月以内）の有無（沖縄県）

①男性

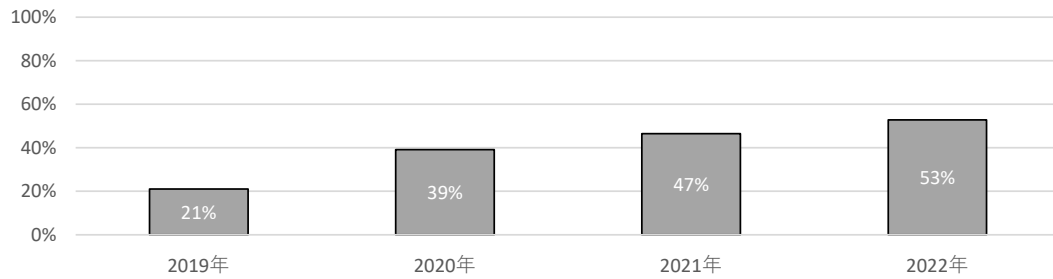
利用歴有り又は無しとの報告率は49%～70%で推移しており、残りは不明となっています。

不明を除いた利用歴有りの割合は2020年より増加を続けており、2022年は利用歴無しよりも多く報告されました。

性風俗産業の利用歴（直近6か月以内・男性）



性風俗産業の利用歴有り割合（不明を除く）

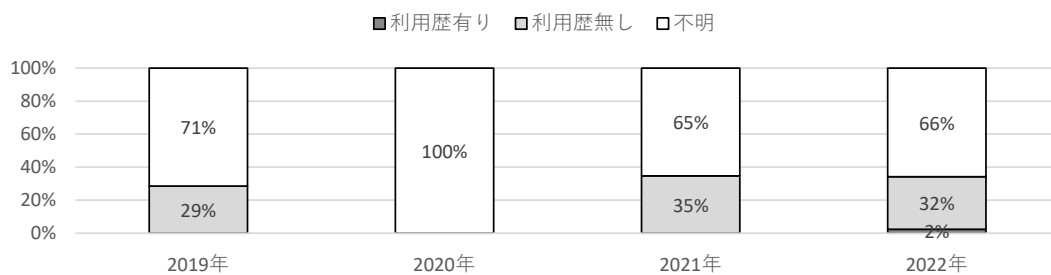


②女性

利用歴有り又は無しとの報告率は0%～35%で推移しており、残りは不明となっています。

2022年は利用歴有りの報告がありました。

性風俗産業の利用歴（直近6か月以内・女性）



性風俗産業の利用歴有り割合（不明を除く）



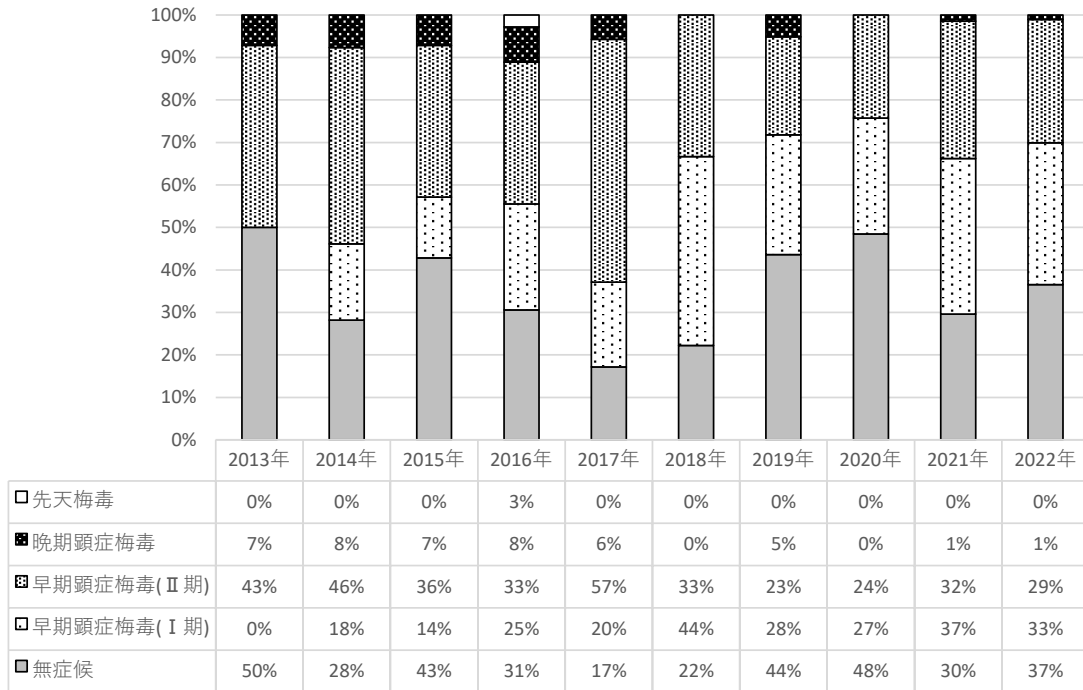
\*\*\*不明のみ

(7) 性別・症状別報告割合（沖縄県）

①男性

2018年以降、早期顕症梅毒(Ⅰ期)の割合が早期顕症梅毒(Ⅱ期)の割合よりも大きくなっています。

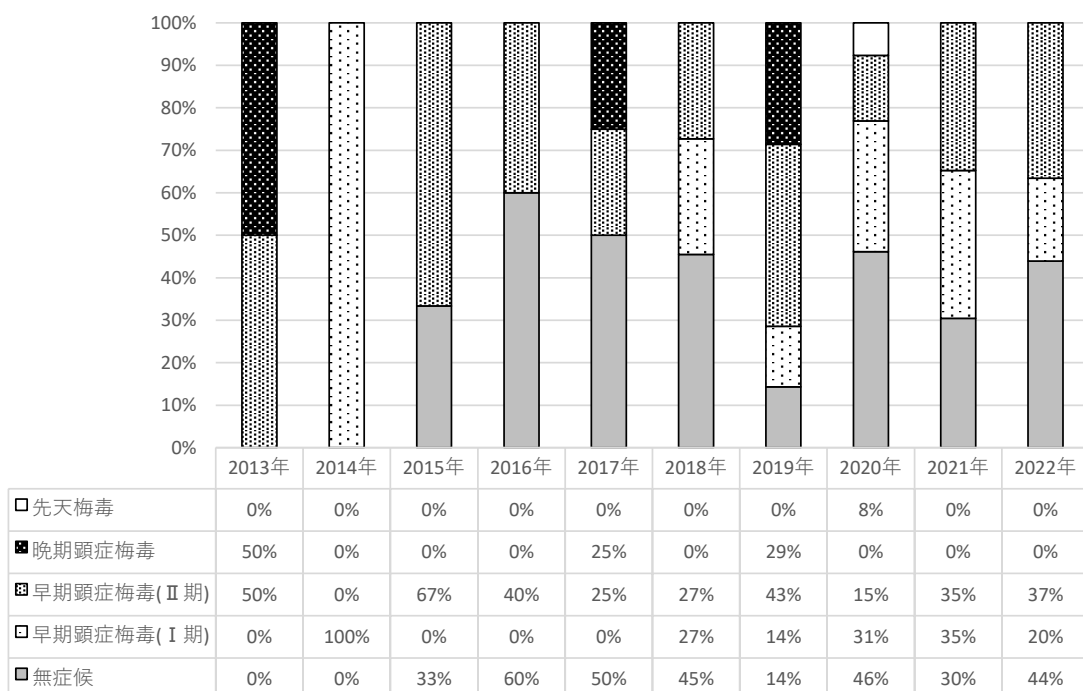
症状別報告割合（男性）



②女性

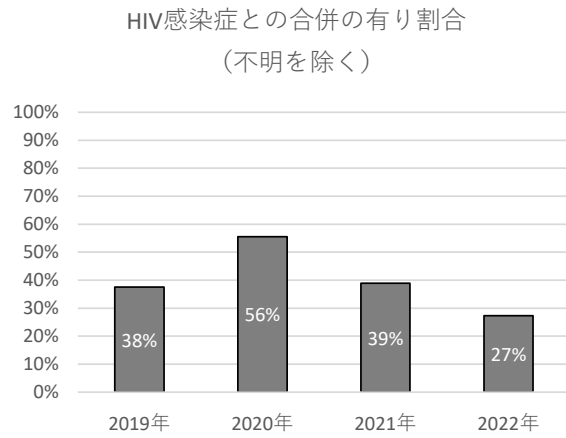
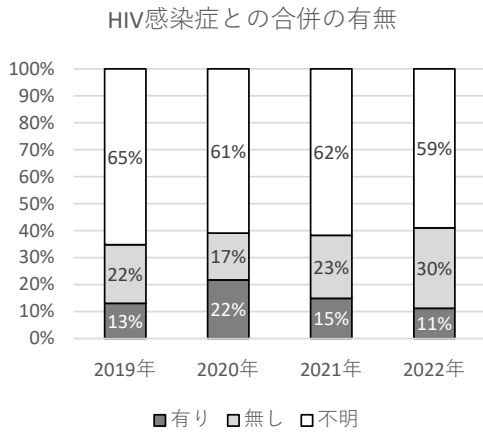
2022年は2021年に比べ、早期顕症梅毒(Ⅰ期)の割合が大きく減少しました。

症状別報告割合（女性）



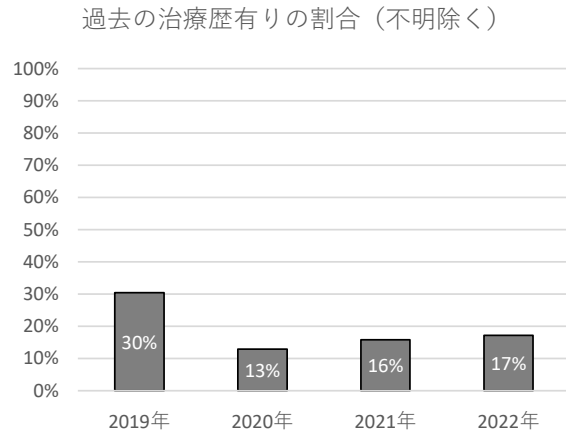
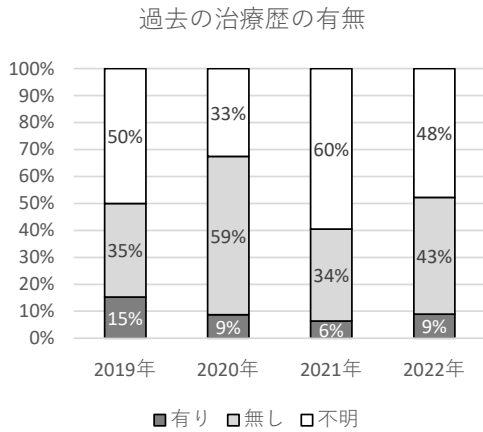
(8) HIV感染症との合併の有無（沖縄県）

合併有り又は無しの報告率は35%~41%で推移しており、残りは不明となっています。  
不明を除いた合併有りの割合は2021年より減少が続いています。



(9) 過去の治療歴の有無（沖縄県）

治療歴有り又は無しの報告率は40%~67%で推移しており、残りは不明となっています。  
不明を除いた治療歴有りの割合は2021年より増加が続いています。



(10) 妊娠の有無（沖縄県）

妊娠有り又は無しの報告率は43%~69%で推移しており、残りは不明となっています。  
不明を除いた妊娠有りの割合は2021年より増加が続いています。

